

評価結果の活用方法

評価結果をもとに、PDCAサイクルを適用し、副校長の下に、自己点検評価会議を通して、改善作成を各担当より提出させ、2022年9月に改善計画を作成し、10月より同会議で改善を実施していく。必要に応じて、運営会議の議題に上程していく。

令和3（2021）年度自己点検評価報告書に基づく改善計画

1. 学校パンフレットの更新

次年度以降の検討とする。当面は、補足資料を作成しパンフレットに添付する形式で行う。

2. 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想

高等学校進路指導担当教員への周知が十分とはいえない。高校訪問を通して周知

次年度以降の検討とする。当面は、過去の実績のある高校への訪問を実施していく。

3. 学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて地元企業を対象としたアンケート調査

次年度以降の検討とする。当面は、合同企業就職説明会に教職員が参加してヒアリングする。

4. 組織規程に沿った部署において、各業務のマニュアル化

次年度以降の検討とする。当面は、各担当でマニュアル化を行っていく。

5. SDGs 宣言を行ったことに伴う行動規範の整備と見直し

次年度に向け検討していく。当面は、宣言に従って行動するものとする。

6. 学内ネットワークシステムはあるが、効率化の点で課題があり、再構築

次年度以降に検討する。当面は、現行のシステムを活用していく。

7. 職業訓練科でeラーニングの構築が進んでいるので、それに応じた整備

当面は、構築のための実施計画は作成していくが、構築は次年度以降とする。

8. 商業実務科で税理士事務所へ就職した学生がいる。税理士を目指している学生等を通じて、連携を検討

本人に対し、次年度にヒアリングを行う。

9. キャリア・サポーター研修者の増員及びキャリアコンサルタントの配置

キャリアコンサルタントの求人を行う。キャリア・サポーター研修参加は当面見送る。

10. 研修会参加者による報告を、FD会議・SD会議を通して各教職員が個々に学内ネットワークで共有化できるよう検討

次年度以降検討していく。当面は、個別に試行を検討する。

11. 就職率は、日本人学生では向上しているが、留学生では進展していない。特定技能1号の分野も含め、再度、戦略を検討する必要がある。

次年度以降戦略的に検討する。当面は、特定技能1号の試験案内等を個別に実施していく。

12. 危機対応のマニュアル化

次年度以降の検討とする。当面は、個別のケースの結果をまとめていく。

13. 不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないため、効果視聴覚教材等の活用

当面は、従前の方法で実施し、次年度以降に検討をしていく。

14. 南海トラフ地震の防災規程の整備

当面は、試案を作成し、次年度以降に具体化していく。